

令和7年度

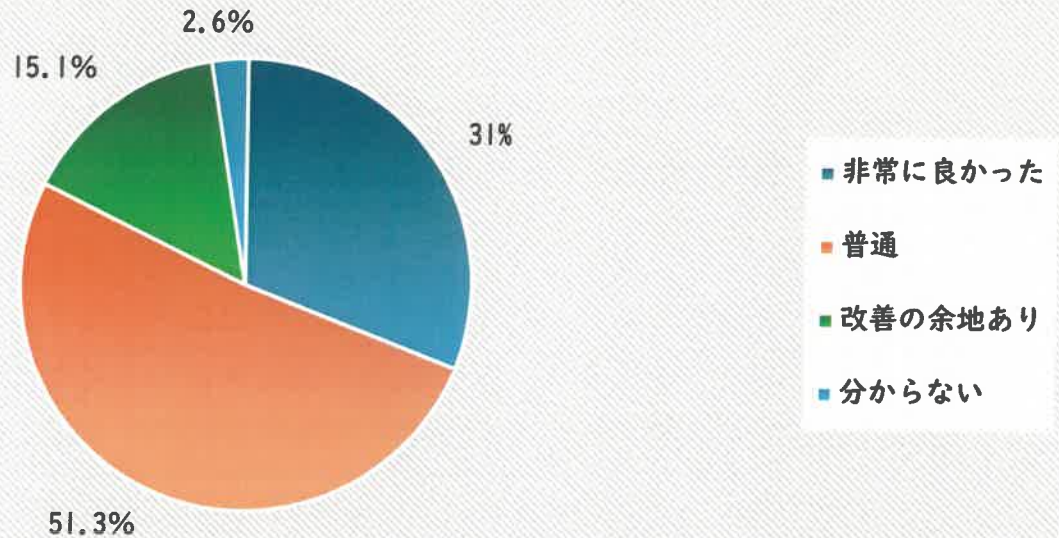
自己評価の報告書（ふくよか彩橋認定こども園）

評価項目	取り組み状況
教育方針・目標	<p>令和2年4月から「地域の子は地域で育てる」ことを主旨とし幼稚園と保育園の機能を併せ持つ幼保連携型認定こども園として一体的な教育保育を行う。</p> <p>【理念・基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none">・明るく健康な子・素直で思いやりのある子・あいさつのできる子・乳幼児の最善の利益を考慮し、子どもの人権や主体性を尊重し、健やかな成長と保護者家庭との親密な連携のもと子育て支援や地域とともに地域福祉向上に努める。・自然豊かな環境・文化に関わり、様々な体験を行うことや地域の人々と触れ合うことで地域の良さを感じる。・季節の遊び・行事などの活動を通して特色ある保育をすることで、興味や関心を高め、意欲・自主・協調などの社会性を養う。・保護者に信頼される保育や教育の需要が常に変化していることに対応できる園であること。
教育内容の保護者への周知	<ul style="list-style-type: none">・オリエンテーションを設け園の運営規程の重要事項とクラスの運営等の説明を行う。・毎月の園だよりを発行し、行事等を知らせている。・ミニだより、クラスだよりを発行し、各クラスのねらい、カリキュラム等を知らせている。・行事等について玄関先の掲示板を活用し知らせる。・園行事においては、運動会、お遊戯会、和太鼓の保育参観を行い教育内容の周知を図る。
教育環境の構成	<ul style="list-style-type: none">・今年度は昨年度に引き続き、0歳児から5歳児までふくよか園舎で保育教育を行う。必要に応じて彩橋園舎を使い、活動の場を広げている。・月二回講師を招いて和太鼓、リズム遊びを取り入れている。 (3、4、5歳児)・年長児を中心とした異年齢児交流「乗り物ごっこ遊び」に取り組む。・園外活動を通して、自然豊かな環境にある4島の地域の特色を活かした自然体験に取り組んでいる。・彩橋園舎において、絵本の貸し出しを行っている。・市の緑化事業に参加し園庭の緑化に努めている。

<p>保育教諭同士の協力連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第1、3水曜日全体職務会、必要に応じてリーダー会を取り入れ職員員のハウレンソウ(報告・連絡・相談)を行っている。 ・支援を要する子どもや長期欠席の子ども達について情報を共通理解し、職員全体で支援に努めている。 ・様々な行事を通して係を中心に準備・進行・片付けなどで職員が協力し助け合って同僚性を高めあっているようにして
<p>研修・研究の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ研修を中心に、職員を派遣し、保育の質を高めている。 ・園内外の研修に取り組んでいる。 ・園内研修の中に、専門講師を招き保育の質を高めている。
<p>健康・安全・衛生管理の配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防として、感染症の流行があれば、適宜判断し、ICTにて発信、周知する。 ・毎月1～2回の避難訓練(火災・災害・不審者)を行い年1回は総合訓練を実施し、消防職員や駐在所の巡査の指導を受けている。又、うるま市主催の地震・津波災害においては、小中学校・地域ともに連携し交通安全教室に参加している。 ・散歩時や彩橋園舎を行き来する場合は横断歩道を渡ることを知らせる。 ・心身の調和のとれた発達の基礎を培うために、散歩、園外保育、年齢に応じた運動遊びなどを年間計画として位置づけ、それに基づいて取り組みを行っている。 ・安全管理担当を配慮し、両園舎において(月2回)安全点検を行い、職員の安全管理意識を育て、環境の安全管理の徹底を行う。 ・うるま市主催の地震・津波災害においては、小中学校・地域ともに連携し防災訓練に参加している。 ・年2回の歯科検診や内科健診を行ったり、虫歯予防週間を設けたりすることで、自身の体や健康について興味関心を持たせる。
<p>食育推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「おいしく・楽しく・感謝して」を目標に食べる意欲、生活習慣の指導を心がけ、子ども達の体力向上に取り組んでいる。 ・農園やプランター栽培など、身近な野菜作りからの収穫を喜びクッキング・ランチバイキング等で、食事を楽しみにする時間を大切にしている。 ・食物アレルギー児の給食については、誤飲防止として食器やトレイの色や形で違いが分かるよう考慮する。又、配膳された食事は成分表チェックを、調理、事務所、各担任で確認をする。 <p>※成分チェックは3段階に分かれて確認を行う。</p>
<p>特別支援教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援児及び配慮に要する子の巡回相談を行い、一人ひとりに合った支援、指導に努める。 ・ケース会議、モニタリング等、その状況に応じて各関係機関との連携を図り、情報共有を行う。 ・保護者支援に努める。その都度面談を行い、就学時に向けて支援体制を行っている。

<p>情報の発信と受信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おたより帳、ミニだより、クラスだより、ドキュメンテーション、園だより等を活用し、個々の子どもの様子は、保護者と直接話や電話をしたりして、情報交換を行っている。(園だよりや献立表等はホームページに掲載) ・行事ごとにアンケートを実施し、保護者の声を受け入れ、改善できるように取り組んでいる。玄関先等においてアンケート用紙と意見箱を設置 ・緊急事態等やその他必要に応じて、保護者家庭への文書配布・ICTにて発信を行っている。
<p>地域との関わり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭開放 ・園の行事等(夕涼み会・運動会・お遊戯会・マラソン大会)においては地域の方も参加していただけるように地域の掲示板を活用、又、自治会のアナウンスで周知している。 地域行事(こいのぼり掲揚式・長寿の集い・ガーゼバル、イリチャンパーケー、ハーリー大会、区民運動会)に参加し自治会や地域の方との交流を図っている。 ・一号認定児におけるの募集案内を各6地域(浜比嘉・桃原・宮城・池味・上原・伊計)へ、ポスター配布、掲示の依頼を行っている。 ・宮城子ども広場(児童施設の見学や活動・ジャガイモ植え、収穫)との交流。 ・近隣のこども園との交流、情報共有。 ・地域企業からの図書贈呈 ・郵便局との交流(ハロウィーン)
<p>小学校との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な継続に向け、こ小連携連絡会を年3回行っている。 ・小学校との交流学習を行っている。(主に4、5歳児) ・小学校の体育館・プール、運動場の借用使用 ・毎月の園・学校だよりを通して相互の行事等、活動内容の情報提供を行い、交通安全教室に参加、マラソン大会への応援参加等を行う。 ・小学校、こども園の両職員で施設見学、授業参観、保育参観等を通して情報交換、情報共有を行い連携を深めていった。今後も連携の強化に努めたい

園全体の評価の保育士が見た視点



こども園全体の評価 17の視点

- (1) 園全体として行事の内容及び運営は目標に沿って行われていたのか。(中・長期事業計画等を参照のうえ)
- (2) 職員の研修内容とその成果は、現場に反映されていたのか。
- (3) 保育内容の公表に努力をしていたのか。
- (4) 小学校や地域の関係機関との連携に向けて、必要な努力を行うことができていたのか。
- (5) 情報を必要とする人に十分な情報の提供ができていたのか。
- (6) 園全体としての今年度の保育の目標やねらいは、達成されていたのか。
- (7) 保育士間で必要な連携が取れていたのか。
- (8) 必要な情報を共有できていたのか。
- (9) 十分な話し合いの上で計画が作成されていたのか。
- (10) 必要な記録を残すことができていたのか。
- (11) 部屋の環境構成(物の配置等を含め)は適切であったのか。
- (12) 年間指導計画に設定した「目標」「ねらい」は達成できたのか。
- (13) 日々の保育に必要な環境構成及び設定は適切であったのか。
- (14) 子どもの状況に応じて柔軟な保育ができたのか。
- (15) 養護と教育への配慮は十分だったのか。
- (16) 個々の発達過程を理解し、発達段階に沿った体験をさせられたのか。(指導表・児童記録・日誌等から考慮)
- (17) 保護者との連携は十分にとれていたのか。

令和7年度 全職員の自己評価総評及び課題

◎非常に良かった点

- ・園全体として行事の内容及び運営は目標に沿って行われていたのか。
→各クラス行事の「ねらい」を立て、保護者へ周知する事で、取り組みへの意識が高まっている。
- ・保育内容の公表に努力していたのか。その方法は適切であったのか。
→園だよりに、園の目標・理念、苦情件数を掲載し公表している。
また、ICT化ルクミーを通して、園だよりやクラスだより、その他公文や、連絡帳、身体測定表を掲載し配信を行なっている。(写真販売等もしている。)
- ・小学校や地域の関係機関との連携に向けて、必要な努力を行う事が出来ていたのか。
→近隣の小学校と5歳児の交流があり、1年生～6年生との交流を年間通して交流を深めている。
地域のとの交流は、こいのぼり掲揚式、夕涼み会、ハーリー、イリチャンバーケー・ガージーパール一等の地域への交流に積極的に取り組んでいる。
- ・保育士間で必要な連携が取れていたのか。必要な情報を共有出来ていたのか。
→職務会に参加していない職員は、職務会議録に目を通し、内容や情報を共有している。
ヒヤリハット等、付箋紙に記入してヒヤリハット板に貼り付け、月1回職務会議で課題について、考える場を設けている。
- ・必要な記録を残す事が出来ていたのか。
→園全体の行事等の記録(ディリーや話し合い、職務会議録等)を残し、マニュアルとして残している。
- ・子どもの状況に応じて柔軟な保育が出来ていたのか。
→一人ひとりの情緒面や発達面への柔軟な対応。担任間だけでなく全職員に共有し、子ども一人ひとりに寄り添った保育に取り組んでいる。

◎改善の余地あり点

- ・情報を必要とする人に十分な情報の提供ができていたのか。
→保育内容の公表・具体的な保育活動が伝わるような内容の向上。
必要とする人に適切に情報が届くよう、保護者のニーズに応じた相談の機械や助言の質の向上。
- ・部屋の環境構成(物の配置等を含め)は適切であったのか。
→4・5歳児のクラスの部屋の配置：子どもの目線や単独で過ごしたい時の部屋の配置
コーナーの設置・空間を作る・時期的に模様替え・季節毎の子ども達の制作の取り組み
- ・養護と教育への配慮は十分だったのか。
→0・1・2歳児の保育参観、3・4・5歳児の保育参観(リズム・和太鼓)等を行ない、擁護的な教育を行うよう取り組んでいく。支援児や就学前の個別面談を行う。

～ 課題 ～	～ 改善策 ～
<p>○急速な少子化の進行に伴い、園児数定員が大きく下回る現状にある。</p> <p>○中・長期事業計画等の作成を検討する。</p> <p>○職員間・連携への情報共有及び共通理解</p> <p>○小学校との連携・取り組み方について、検討する。</p>	<p>○島内地域への園児募集の配布・掲示(平安座島・宮城島・伊計島・浜比嘉島)や地域企業に広域保育の募集案内を依頼する。</p> <p>○理事会への話し合いを行う。</p> <p>○若手保育教諭の育成 (保育研修参加・キャリアアップ研修修得への強化)</p> <p>○職員の保育の資質の向上強化</p> <p>○職員の ICT ルクミー等の活用</p> <p>○職務会議などの充実</p> <p>○3・4・5歳児の保育教育の充実した実践を行う。</p> <p>○保護者への ICT ルクミー伝達発信を迅速に行う。</p> <p>○小学校との連携(職員同士の交流の場を持つ)</p>

以上の通り報告します。

令和8年(2026年)1月
 ふくよか彩橋認定こども園
 園長 謝花 千佳